

指揮者・ナビゲーター 寺岡 清高



早稲田大学第一文学部卒業。桐朋学園大学を経てウィーン国立音楽大学指揮科に学ぶ。97年、イタリア・シエナのキジアーナ音楽院よりフランコ・フェラーラ大賞を授与され、1年間ロンドン・コヴェントガーデン、ミュンヘン・フィル等で研鑽を重ねる。2000年、ミトロプー

ロス国際指揮者コンクール優勝。これまでに数多くの国内オーケストラとともに、フェニーチェ歌劇場管、サンクト・ペテルブルグ・フィル、ウィーン室内管、イギリス室内管を始め、ヨーロッパ各国のオーケストラへ客演している。大阪交響楽団とは、2004年1月の正指揮者就任以来緊密な関係が続けており、2011年4月から2019年3月まで、同楽団常任指揮者を務める。ウィーン在住。

大阪交響楽団

1980年創立。永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を！』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2010年4月に楽団名を「大阪交響楽団」と改称。2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となり、2018年11月に公益社団法人となった。日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーを経て、2020年名誉指揮者に就任、2019年4月からは新たに太田弦（2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で第2位ならびに聴衆賞を受賞）が正指揮者に就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されている。

楽団公式ホームページ (<http://sym.jp>) (2021年1月現在)



©飯島 隆

チェロ 水野 優也



1998年生まれ、東京都出身。第89回日本音楽コンクールチェロ部門第1位及び岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、徳永賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に対し贈られる増沢賞を受賞。第13回東京音楽コンクール弦楽部門第1位及び聴衆賞。第23回コンセールマロニエ 21 弦楽器部門第1位。

ソリストとして東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団などと共演。国内各地でのソロリサイタルをはじめ、PMF2017、武生国際音楽祭、いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭、宮田大「大ism」、藤沢にゆかりのある音楽家たち、長谷川陽子・向山佳絵子プロデュース「チェロ・コレクション」、チェロ・リパブリカ、反田恭平 with MLM ナショナル管弦楽団、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などに出演。

ドイツ・ドレスデン音楽祭ではスカラシップを得てダーヴィッド・ゲリンガス、フランス・ヘルメルソンの各氏に学ぶ。草津夏期国際音楽アカデミーでは遠山基金奨学生としてタマーシュ・ヴァルガ氏のマスタークラスを受講、西村朗音楽監督賞受賞。

桐朋学園大学チェロアンサンブル・サイトウ、公益財団法人江副記念リクルート財団、公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション、各奨学生。

これまでにチェロを河地正美、常光聡、倉田澄子の各氏に師事。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を首席卒業。特待生として桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース修了。現在、ハンガリー国立リスト・フェレンツ音楽大学にてミクローシュ・ペレーニ氏のもとで研鑽を積んでいる。ジャパンナショナルオーケストラメンバー、シャネル・ピグマリオン・デイズ 2020/2021 参加アーティスト。